



歯ろはろ～新聞



発行/ 多田歯科医院

高松市木太町792-6 ☎815-2010

ホームページ <http://www.tadashika.jp/>

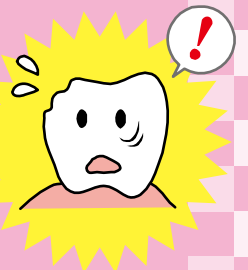
3月に入り、暖かい春がようやく近づいて来ましたね。もうすぐ“桜の開花予想”などの話題も聞こえてくる季節です。また、桜の開花よりも先に私たちの目を楽しませてくれる花といえば、“梅”や“桃”の花がありますね。ところで、皆さんはこの『梅・桃・桜』の花を正しく見分けられますか？簡単に思えますが、じっくり見ないと意外に勘違いしてしまうことも多いようです。それもそのはず、この三種類はすべて「バラ目・バラ科・サクラ属」の植物なのだそう。最も早く咲くのは“梅”の花ということですが、気候条件や花の種類によって、これら梅・桃・桜の花が同時期に咲く場所もあるため、そういった地域に住んでいる方々はますます見分けがつきにくいかもしれませんね（笑）梅・桃・桜の花を見分ける一番簡単な方法は、花びらの形を見ることです。◆梅の花びらは“丸い形” ◆桃は花びらが“とがっている” ◆桜は“花びらの先が割れている（ハート型）”もちろん、種類によっては多少違う形もありますが、イラストなどで見かけるものを思い浮かべると分かりやすいかもしれません。他にも、枝から花までをつないでいる細い部分、花柄（かへい）の長さなどにも違いがあります。○桜は“花柄が長くて枝からぶら下がるようになっています（さくらんぼのイメージですね）。” ○梅は“花柄が短くて、枝に花がくっついているように見えます。” ○桃は“梅と似ていて花柄は短いけれど、1芽に2花咲くのが特徴です。”梅は早いものでは1月ごろから咲く種類もあるみたいですが、これから次々と開花シーズンを迎えると思うと楽しみです。お花見の宴会で桜を愛でるのも楽しみです。ぜひ今年は『梅・桃・桜』の葉や花の細かな違いにも注目してみてくださいね。もしかしたら、毎年見ていた近所の木にも、花を勘違いしていたものがあるかもしれませんよ。それでは、暖かくなっても油断は大敵、寒暖の差で体調をくずさないように気を付けてお過ごし下さい。元気に春を迎えましょう。

あなたも
“**歯科通**”
になれる…!?

歯医者が
出題する

“歯とお口”のクイズ

皆さんは『**酸蝕症**』という歯の病気をご存知ですか？現在の日本では、老若男女問わず、“**成人の6人に1人が酸蝕症**”といわれています。酸蝕症は歯の表面が溶けてしまう病気ですが、むし歯のように歯が痛むといった自覚症状がないのが特徴です。さて、ここでこんな問題を出題！



Q

「酸蝕症」の原因となる飲み物は次のうちどれでしょう？

1



ウーロン茶

2



緑茶

3



レモン水

4



ミネラル
ウォーター